

■林業

7月合併予定の(仮称)苫小牧広域森林組合に出資し、森林の整備や保全に努めてまいります。

■水産業

市や白老町、いぶり中央漁業協同組合、地域関係者が参画する登別・白老地域マリビジョン協議会が『北海道マリビジョン21』構想に基づいて策定した『登別・白老(虎杖浜)地域マリビジョン』が北海道開発局に認められ、モデル地域の指定を受けました。今後、登別漁港の整備が重点的に進められますので、併せて高度衛生管理型荷捌所などの関連施設の整備、アンテナショップの充実に努め、地場消費の拡大と登別ブランドの確立を図ってまいります。



▲登別漁港

重点施策②

やさしさでふれあいのまちづくり

■児童虐待の早期発見・未然防止

児童の健全な育成には、家庭・学校・

地域が一体となり見守ることができるとして、これまで『次世代育成支援行動計画』に基づき、安心して子どもを産み健やかに育てる環境づくりに努めてまいりました。

残念ながら、子どもに対する虐待や保護を要する児童が後を絶たない実情です。昨年度、『子ども虐待相談室』を設置し、夜間の電話にも担当者が対応してまいりました。

本年度は新たな『児童虐待防止マニュアル』を策定し、虐待の早期発見・未然防止などの適切な対応に努めてまいります。



■総合的な放課後児童対策

急激な少子化や核家族化の進行に伴い、放課後などにおける児童・生徒の安全な活動の場の確保や多様な活動の実施が強く求められています。

本年度、国は、小学校区で放課後に子どもが安全かつ健やかに活動できる場所の確保を図り、総合的な放課後児童対策を実施する『放課後子どもプラン』を創設することとしています。

この制度は、学校の空き教室などを活用し、小学校区単位に運営委員会を設置するとともに、コーディネート者を配置し、事業計画を作成することと

してまいりますので、今後、国などの動きを注視し、この事業に取り組んでまいります。

なお、登別温泉小学校が3月末で閉校します。登別温泉公民館に児童館機能を設け、登別温泉地区における放課後児童対策の充実に努めます。

■福祉

障がい者や高齢者など、すべての人が個人として尊重され、日常生活の中で自らの意思で自由に社会参加し、さまざまな交流やふれあいの中で生きがいをもって生活することができるとして、社会の実現は、わたしたちの願いです。誰もが安心して暮らすことができる

住みよい地域社会を実現するために、懸案の『登別市福祉のまちづくり条例』の制定を進めてまいります。

高齢者のための取り組みとして、民間による有料老人ホームの新設や介護老人保健施設増設事業に対して『ふるさと融資制度』による支援をしております。

また、平成20年度より実施が予定されている後期高齢者医療制度については、現行の老人保健医療制度からの円滑な移行に備え、実施体制の整備に努めてまいります。



■市民の健康対策

近年、生活習慣病の予防が喫緊の課題となつてまいりますので、正しい生活習慣を身に付けるための指針となる『健康のぼりべつ21』に沿って、市民の健康づくりを支援する各種事業を引き続き実施するとともに、平成20年度から国民健康保険者に新たに求められる健康診査や保健指導事業に対応するため、『特定健康診査等実施計画』を策定します。

重点施策③

安全でやさしさのあるまちづくり

■防災

近年、国内をはじめ、世界各地において地震や津波による大きな災害が発生し、また、地球規模の異常気象に起因していると考えられる暴風雨や洪水などの風水害が頻発し、多くの人命と財産が失われています。

災害時に被害を最小限に食い止めるためには、市民自らが災害に対する備えを講じ、防災に対する認識を高めることが重要ですので、昨年配布した防災マップを活用し、町内会などの防災



▲1月に全戸配布した防災マップ